MONTHLY
連合埼玉
VOL.417　2026年11月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）
発行人　大谷 誠一
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19（あけぼのビル2F）
TEL048-834-2300（代表）毎月1日発行（購読料は会費に含む）
JTUC

記事内容
☆特定（産業別）最低賃金
☆連合関東ブロック海外交流視察inマレーシア／ジェンダー平等・多様性推進委員会「多様性推進セミナー」
☆ものつくり大学　連合連携寄附講座
☆青年委員会「北関東青年交流会」／地域協議会４ブロック一斉「令和8年熊本地震カンパ」
☆メンタルヘルス研修会（基礎編）／組合役員教育プログラム「修了証書」授与式
☆地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会
☆11月の行動予定／中央労働金庫お知らせ
☆あけぼのビル

令和8年度
埼玉県特定（産業別）最低賃金の改正決定について

埼玉地方最低賃金審議会は、本年7月28日に埼玉労働局長から「特定最低賃金の改正決定について」の諮問を受け、5業種の特定最低賃金専門部会を設置し、調査・審議をおこなってきました。当該産業の活性化や公正競争の確保を観点に特定最低賃金の引き上げ額について、公労使で慎重かつ真摯な議論をおこないました。結果、埼玉労働局長に対し、以下に示す改正額を答申しました。今後諸手続きを進め、本年12月1日より効力を発生することとなります。

今年の特定（産別）最低賃金は、4業種で、地域別最低賃金と同額の55円の引き上げ額、輸送用機械器具製造業は委員の方の粘り強い交渉により59円（地域別最低賃金＋4円）の引き上げ額となりました。

しかし、来年以降も当該産業の活性化や魅力向上、産業内の公正競争を確保するためにも地域別最低賃金の引上げ額以上を確保する必要があります。そのためには、構成組織・加盟組合の皆様には、これから始まる2027春季生活闘争の中で企業内最低賃金の水準の引き上げに取り組んでいただきますようお願いいたします。

簡易計算サイト
「チェック！あなたの賃金は、大丈夫？」～最低賃金をクリアしてる？～
https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/saiteichingin/

連合HP　QRコード

令和8年度特定（産別）最低賃金

産業別	時間額（円）	引上額	引上率	発効日
非鉄金属製造業	1,216円	55円	4.74%	2026年12月1日～
電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業	1,223円	55円	4.71%	
輸送用機械器具製造業	1,224円	59円	5.06%	
光学機械器具・レンズ、時計・同部品製造業	1,232円	55円	4.67%	
自動車小売業	1,207円	55円	4.77%	

（参考：既報）埼玉県地域別最低賃金

時間額（円）	引上額	引上率	発効日
1,196円	55円	4.82%	2026年10月1日～

連合関東ブロック海外交流視察 in マレーシア

2026年9月15日（火）～18日（金）

連合関東ブロック連絡会では、欧州やアジア、オセアニアなど、各国の労働組合との交流をつうじて相互理解の促進と先進的な活動を学習することを目的に、毎年視察団を派遣しています。

2026年度「第31回海外視察団」は、9月15日（火）～18日（金）にマレーシアの視察を次の日程でおこないました。連合埼玉からは相羽副会長と秋元副事務局長が参加しました。

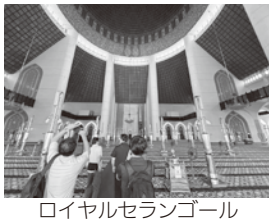
今回の視察では、異文化理解と多文化共生、国際的な事業展開や社会課題への取り組みについて多角的に見聞を広げることができました。多民族国家マレーシアの文化に触れる機会として『バトゥ洞窟』や『ブルーモスク』を視察しました。異なる宗教や文化が尊重されながら共存する姿は大変印象深く、多様性を包摂する社会づくりの視点を学ぶ貴重な機会となりました。

3日目の『オタフクソース マレーシア』訪問では、フードダイバーシティへの取り組みとして、ハラル認証の取得や現地ニーズに合わせた製品開発・工場運営についての説明と工場見学をさせていただきました。今回参加させていただき、4日間で多くの学びがあり、実りある視察となりました。

【日程】

9月15日　クアラルンプール国際空港へ到着
9月16日　「バトゥ洞窟」視察
「ブルーモスク」視察
「ロイヤルセランゴールピューター」視察
「イオンマレーシア」視察
9月17日　「オタフクソース マレーシア」視察
「ＪＥＴＲＯ KUL事務所」訪問・意見交換
「天后宮」・「ピンクモスク」視察
9月18日　成田空港へ到着（帰国）


バトゥ洞窟にて


ロイヤルセランゴール
ピューター工場にて


オタフクソース
マレーシア工場にて



オタフクソース
マレーシア工場にて



JETRO KUL事務所にて

ジェンダー平等・多様性推進委員会「多様性推進セミナー」開催

9月24日（水）、あけぼのビル501会議室にて、ジェンダー平等・多様性推進委員会主催の「多様性推進セミナー」を、35名の参加者のもと開催しました。冒頭、当委員会の委員長の迫副会長より開会挨拶をいただきました。その後、講演1として、埼玉大学 学術院 ダイバーシティ推進センター・大学院人文社会科学研究科 教授の渡辺　大輔氏にご登壇をいただき、アライによる働きやすい職場環境づくりをテーマに、**①知る②気付く③声を上げる④変える・知識を行動・環境改善につなげる**ためのステップのもと、**①言葉を変える②決めつけない③おかしいと思ったら声を上げる④本人のいないところでも行動する**ためのアクションを講義で習得し事例研修をおこないました。

また、講演では、埼玉県県民生活部 人権・男女共同参画課 性の多様性尊重推進担当 湯本　恵一氏からは、埼玉県の性の多様性に関する取り組みをテーマに、①性の多様性に関する埼玉県の動き②埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例について③県の取り組みなどの紹介を受けました。

アライ（ALLY）とは、LGBTQ（性的マイノリティ）を理解し、または支援したいと思う人を指します。働きやすい環境づくりを実現するためには、アライの存在は不可欠です。連合埼玉では多様性を認め合う社会風土の醸成に向けて取り組んでおります。多数ご参加をいただきまして有難うございました。


迫副会長あいさつ


渡辺 大輔講師


湯本講師

ものつくり大学にて連合連携寄附講座を開催！

～働く上で知っておくべき知識とは!～



連合埼玉では、9月28日（月）、10月6日（月）、10月9日（金）の3日間にかけて、ものつくり大学　建設学科ならびに情報メカトロニクス学科の学生を対象に、連携寄附講座を実施しました。

当日は、「労働組合の役割や意義」「働く立場でのワークルールの重要性」「建築産業ならびに電機産業における現場の実態」「労働者福祉運動の取り組み」などについて、講義をおこないました。

参加した学生からは、「講義をつうじて、働くことについて考えるきっかけとなった」「自分が働いているバイト先での労働条件と比較ができた」などの評価をいただきました。

これから就職を迎える学生に対して、一人でも多くの人が私たちの仲間に加わっていただけるよう、各講師が思いを伝えました。

【連携寄附講座スケジュール】

＜建設学科／応用ゼミ＞

●日　時　2026年9月28日（月）　9:00～
●内　容　①講義1
テーマ：働くことを軸とする安心社会の実現に向けて
講　師：今井 信博氏（連合埼玉会長）
②講義2
テーマ：知っておきたいワークルールの基礎知識
講　師：大谷 誠一氏（連合埼玉事務局長）

●日　時　2026年10月6日（火）　9:00～
●内　容　①講義1
テーマ：建築産業における現場の実態と労働組合の役割
講　師：宮前 守氏（建設埼玉中央執行委員長）
大島 学氏（建設埼玉書記長）
②講義2
テーマ：すべての働く者のための取り組み
講　師：佐藤 道明氏
（埼玉労福協専務理事）

＜情報メカトロニクス学科／創造プロジェクト＞

●日　時　2026年10月9日(金)13:30～
●内　容　①講義1
テーマ：働くことを軸とする安心社会の実現に向けて
講　師：今井 信博氏（連合埼玉会長）
②講義2
テーマ：知っておきたいワークルールの基礎知識
講　師：大谷 誠一氏（連合埼玉事務局長）
③講義3
テーマ：電機産業における現場の実態と労働組合の役割
講　師：竹内 秀之氏（電機連合埼玉地協議長）
④講義4
テーマ：すべての働く者のための取り組み
講　師：佐藤 道明氏（埼玉労福協専務理事）


建設埼玉中央執行委員長　宮前氏


建設埼玉書記長　大島氏


電機連合埼玉地協議長　竹内氏


埼玉労福協専務理事　佐藤氏

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

2026北関東青年交流会　開催

（埼玉・栃木・群馬・茨城 ＋ 神奈川・山梨）

総勢34名の青年委員会メンバーが熊谷に結集！

9月27日（日）～28日（月）に、連合埼玉・連合栃木・連合群馬・連合茨城・連合神奈川・連合山梨の青年委員会が熊谷市に集合し、青年交流会を開催しました。

1日目は連合埼玉青年委員会の若山委員長より主催者挨拶があり、その後、女装パフォーマーのブルボンヌ氏による「男らしさ、女らしさより自分らしさが社会を変える～LGBT・男性・女性とは～」と題し、講演がありました。

自己肯定感を高く持つことにより「自分の決断に自信が持てる」「自分の長所に気づける」「失敗を恐れない」など、LGBTに関して考えさせられる有意義なセミナーとなり、各地方連合会からも好評をいただきました。

その後、参加した各地方連合会から「青年委員会活動報告」と「〇〇県のいいところ」を発表しました。

2日目は、生涯学習センター「くまぴあ」に移動しスポーツ交流として腰に付けた2本のタグをお互いに取り合う「タグラグビー」をおこないました。講師に埼玉ワイルドナイツの木川 隼吾氏をお招きし、ゲームの進め方の説明後、実際にプレーをおこない小雨の降る中ではありましたが、みんなで汗を流し大いに盛り上がりました。

2日間を通し各地方連合会の青年委員会と良い交流ができ、非常に有意義な交流会となりました。


青年委員会　若山委員長


基調講演　ブルボンヌ氏


タグラグビー


参加者集合写真



地域協議会4ブロック「令和8年熊本地震カンパ」報告

ご協力ありがとうございました

9月28日（月）、連合埼玉地域協議会4ブロック（東・西・南・北）において、「令和8年熊本地震」に係る被災者支援を目的とした緊急カンパを一斉に実施いたしました。

当日は小雨が降る中ではありましたが、各地域協議会役員、連合埼玉執行委員、連合埼玉推薦議員ほかの皆さま、計58名にご参加いただきました。

街ゆく方々から寄せられた温かいご支援は大きな輪となり、総額65,901円の募金が集まりました。皆さまの真心こもるご協力に、改めて深く感謝申し上げます。

東部ブロック／久喜駅西口／12,722円
西部ブロック／川越駅東口／30,992円
南部ブロック／大宮駅東口／　1,805円
北部ブロック／熊谷駅北口／20,382円
【チャリティ募金】　合計65,901円


東部


西部


南部


北部

職場環境改善と対話のマネジメント

メンタルヘルス研修会（基礎編）を開催

職場のメンタルヘルス支援～なぜ成果が見えないのか～
ストレスチェック中心主義を超えていくために

9月30日（水）、あけぼのビル501会議室にてメンタルヘルス研修会（基礎編）を開催しました。当日は19名の組合役員ならびに会社担当者にも出席いただきました。

冒頭、連合埼玉を代表し、労働政策委員会委員長の迫副会長よりメンタルヘルス研修の重要性が述べられ、「今後の職場および組合活動に活かしていただきたい」と挨拶がありました。

公認心理師・シニア産業カウンセラーの綾部公認心理師事務所　綾部 和幸氏より、「職場のメンタルヘルス支援　なぜ成果が見えないのか」をテーマに、「ストレスチェック中心主義を超えていくために」を副題テーマとした次の①～④の内容の講義となりました。

① 職場のメンタルヘルス支援
②ストレスチェックの活かし方
③職場の心理的安全性
④対話を仕組み化する1on1

50人未満の事業場もストレス度チェックが2028年4月1日施行により努力義務から義務となることから、再度ストレス度チェック制度の活用のしかたと注意点を、活発なグループディスカッションや発表を交えて対話の仕組み化や効果的な質問方法など、メンタルヘルス支援の再定義を具現化していきました。

連合埼玉では、メンタルヘルスに対する取り組みを今後もおこなっていきますので、皆様の参加をお待ちしております。


迫　委員長


綾部講師

2026「組合役員教育プログラム」修了証書授与式

次代を担うリーダーを育成

9月30日（水）、あけぼのビル502会議室において、2026年度組合役員教育プログラムの修了証書授与式を開催しました。

本年度は、実務講座4名、基礎講座4名、スキルアップ講座3名の計11名が全プログラムを修了し、このうち8名（2025年度対象者1名を含む）が授与式に参加しました。

式典では、組合役員教育プログラム運営委員長である大野副会長より、自身の経験をふまえた「修了証書授与にあたって」と題する講話がありました。続く意見交換では、受講をつうじて印象に残った点や、組合活動に活かすことができた内容など、参加者から率直な感想を伺いました。

組合役員教育プログラムは、2012年に「自前で教育ができない組合を支える仕組み」として基礎講座からスタートし、これまでに延べ3,456名が受講しています。未参加の組織におかれては、次代のリーダー育成や役員のスキルアップの観点からも、ぜひ受講をご検討いただきたいと考えます。

2026年度講座修了者

	組　合　名	氏　名	講座名
1	ハイデイ日高労働組合	西尾 政浩	全講座
2	ハイデイ日高労働組合	岡安 和也	全講座
3	ハイデイ日高労働組合	佐藤 悠太	全講座
4	ハイデイ日高労働組合	鈴木 佳祐	実務講座
5	オートテクニックジャパン労働組合	山岸 勇人	基礎講座
6	本田金属労働組合	馬場 眞司	スキルアップ講座
7	サンケン電気労働組合	栗原 正和	基礎講座、実務講座
8	三井金属鉱業銅箔事業部労働組合	吉田 賢一	基礎講座、実務講座


講話をする大野委員長


集合写真（大野委員長と修了者）

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」を開催

～政策・制度要請内容の実現に向けて～

10月14日（水）の東部ブロックを皮切りに、20日（火）に南部ブロック、21日（水）に北部ブロック、26日（月）に西部ブロックにおいて、「地協ブロック連絡会」ならびに「市長・町長政策懇談会」を開催しました。

連合埼玉からは今井会長をはじめ、各地協ブロック担当の副会長・執行委員が出席し、各地域協議会からは多くの地協四役の出席がありました。

冒頭、今井会長から、世界規模で発災している災害に対する労働組合としての自助・共助・公助について、春闘や最低賃金、および政策・制度要求の重要性について挨拶がありました。

協議事項では、次の項目について活発な質疑や意見交換がおこなわれました。

①2026年度活動経過報告
②2027年度活動計画（案）について
③2026年度政策制度要求（市町村版）について
④各地域協議会活動報告
⑤地域事務所の取り組みについて
⑥地協再編についての意見交換

各地域協議会からも、活動報告や政策・制度要請の取り組みについて報告がおこなわれ、あわせて各ネット２１のユニオンアドバイザーからも地域事務所の活動報告がありました。

今後も引き続き、各地域協議会と連携を深めるとともに、現場の意見をふまえ、働く仲間のための政策実現に向け、連合埼玉の活動をより力強くすすめていきます。


東部地協ブロック連絡会の様子



南部地協ブロック連絡会の様子


北部地協ブロック連絡会の様子


西部地協ブロック連絡会の様子

「市長・町長政策懇談会」では、地協エリアに該当する市・町の推薦・友好首長（総勢20名）および推薦議員（総勢47名）が参加のもと、活発な意見交換がおこなわれました。

連合埼玉 今井会長の挨拶、出席者皆様の自己紹介の後に、＜テーマ1＞として9分野35項目にわたる「2026年度連合埼玉　政策・制度要請（地協統一）」について説明をおこない、要請内容の実現に向けて協力を求めました。

その後、＜テーマ2＞として「地方行政に関する課題について」当日出席いただいた市・町の推薦・友好首長（代理を含む）から各自治体における課題などについて報告がされました。

具体的には、「人口減少・「公共交通について」「公契約条例について」「子育て支援について」など、多岐にわたる取り組みと課題について報告がありました。

また、市・町の推薦・友好首長（代理を含む）から、連合埼玉の政策制度に対しての質問や現自治体としての取り組みについての話がありました。

連合埼玉は、今後も推薦・友好首長や推薦議員などと連携をはかり、働く者・生活者の立場に立った政策の実現に向けて取り組みを進めます。是非来年度以降も、皆様からの意見をよろしくお願いいたします。


東部ブロック政策懇談会の様子


南部ブロック政策懇談会の様子



北部ブロック政策懇談会の様子


西部ブロック政策懇談会の様子

現在予定される11月の日程表です

11月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日		
2日	月	連合埼玉「第12回四役会議」「第12回執行委員会」(10:00～、13:00～・ときわ会館)	
3日	火		
4日	水	埼玉労働局との意見交換(15:00～・埼玉労働局)	①埼玉県「令和8年度第2回人手不足対策分科会」(9:30～・知事公館) ②埼玉県私鉄「第51回定期大会」(11:00～・東武鉄道春日部支部) ③埼玉県地域人材育成構想会議(11:10～・知事公館) ④第2回「埼玉県公契約条例に関する専門委員会」(15:30～・埼玉教育会館)
5日	木		①埼玉県労働者共済生活協同組合「第2回正副委員長会議」(13:30～・こくみん共済coop埼玉推進本部) ②こくみん共済coop「第2回正副委員長会議」(14:00～・こくみん共済coop埼玉推進本部) ③こくみん共済coop「産別委員会」(15:30～・こくみん共済coop埼玉推進本部)
6日	金		①埼玉労福協「第4回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②埼玉労福協「教育フォーラム」(13:30～・ときわ会館)
7日	土		ねんりんピック彩の国さいたま2026総合開会式(熊谷市スポーツ文化公園陸上競技場)
8日	日		①連合関東ブロック「第5回幹事会」(～9日・高崎市労使会館) ②連合関東ブロック「代表者会議」(～9日・高崎市労使会館)
9日	月		
10日	火		
11日	水	①ネット21運動「第8回運営委員会」(10:00～・連合埼玉) ②青年委員会「第12回幹事会」(18:00～・連合埼玉)	①第5回地方連合会事務局長会議(13:30～・連合会館) ②埼玉県労働者共済生活協同組合「第456回理事会」(15:00～・こくみん共済coop埼玉推進本部) ③こくみん共済coop「第3回代表委員会」(15:30～・こくみん共済coop埼玉推進本部)
12日	木	埼玉シニア連合「第8回四役会」「第8回幹事会」(13:00～・14:10～・連合埼玉会議室)	①埼玉労福協「第4回地域労福協代表者」(13:30～・こくみん共済coop) ②埼玉労福協「第4回政策制度会議」(15:30～・こくみん共済coop) ③本庄・児玉郡地域協議会「幹事会」(18:30～・はにぽんプラザ)
13日	金		①令和8年度埼玉県地域職業能力開発促進協議会(10:00～・ポリテクセンター埼玉) ②埼玉県生産性本部「埼玉大学シンポジウム」(14:40～・埼玉大学) ③社会保険診療報酬支払基金「令和8年10月審査運営協議会」(15:00～・社会保険診療報酬支払基金)
14日	土		
15日	日		三井精機労働組合「結成80周年記念式典」(12:00～・パレスホテル大宮)
16日	月		埼玉県モーダルシフト促進のための「JR貨物熊谷貨物ターミナル駅見学会」(14:00～・熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」)
17日	火		
18日	水	①連合埼玉「臨時執行委員会」(10:10～・ロイヤルパインズホテル浦和) ②ネット21「パソコン寄贈式」(10:45～・ロイヤルパインズホテル浦和) ③連合埼玉「第25回地方委員会」(13:00～・ロイヤルパインズホテル浦和)	
19日	木		
20日	金	青年委員会「第38回定期総会」(13:30～・あけぼのビル)	①第3回埼玉県ケアラー支援に関する有職者会議」(10:30～・WEB) ②令和8年度第1回埼玉地方労働審議会(14:00～・プリランテ武蔵野) ③中央労働金庫さいたま支店「開設40周年記念祝賀会」(18:30～・ロイヤルパインズホテル浦和)
21日	土		ユニオン連合埼玉「定期大会」(あけぼのビル)
22日	日		
23日	月		
24日	火		令和8年度第2回強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議(13:15～・知事公館)
25日	水		①ときわ会館「第3回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②中央労働金庫「理事会」(15:30～・中央労働金庫本部)
26日	木	女性委員会「第38回定期総会」(13:00～・あけぼのビル)	連合「2027春季生活闘争方針(案)説明会(10:00～・WEB)
27日	金	①埼玉シニア連合「第9回幹事会」「第30回定期総会」(13:00～・14:30～・あけぼのビル) ②川崎市に関する公契約条例勉強会(16:00～・連合埼玉)	①基幹労連「第25回定期総会」(15:00～・キングアンバサダーホテル熊谷) ②埼玉県生産性本部「県外視察」(～28日)
28日	土		
29日	日		第6回埼玉25条集会「13:30～・さいたま共済会館」
30日	月	宅配を1回で受け取ろう!駅頭街宣 in 南部ブロック(18:00～・大宮駅)	



「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」に向けた標語

◇優秀賞　認め合い　働きやすさを育てよう　笑顔あふれる職場から

（基幹労連埼玉県本部 三井金属総合研究所労働組合・杉木　綾太）

連合埼玉HPへのリンク
「ジェンダー平等・多様性推進」▶

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長　大谷　誠一

◆労働組合から見たアジア大会
～感動を支える「働く人」に光を～

9月19日から10月4日にかけて、愛知県名古屋市で開催された「第20回アジア競技大会」が閉会しました。アジア各国・地域の選手たちが、国や地域の誇りを胸に競い合い、互いの健闘をたたえ合う姿は、多くの人々に感動と勇気を届けてくれたことと思います。

そのような中、日本選手団は過去最高の金メダル83個、メダル総数も過去最多の269個を獲得しました。改めて、日本選手団皆様の奮闘に敬意を表します。

【アジア大会メダルランキング】

No.	国　名	金	銀	銅	合計
1	中　国	169	89	83	341
2	日　本	83	95	91	269
3	韓　国	39	43	68	150
4	インド	21	27	37	85
5	ウズベキスタン	21	25	24	70

一方では、輸送・バスの遅延や手配ミス、宿泊施設の不備、入国・受入時の混乱、公式行事や国歌の誤奏などの運営管理をめぐる様々なトラブルが相次ぎました。是非とも、関係者にはアジア大会がこれほどまで混乱したのか考えてもらいたい。

スポーツには、言葉や文化、国境の違いを越え、人と人をつなぐ力があります。今大会のスローガン「IMAGINE ONE ASIA（ここで、ひとつに）」にも、その願いが込められています。

しかし、労働組合の立場から大会を振り返るとき、私たちが目を向けたいのは、競技の舞台で輝く選手たちだけではありません。

その舞台を陰で支えた、数多くの「働く人々」の存在です。競技施設の整備や維持管理、交通・輸送、警備、清掃、宿泊、飲食、報道、医療など、大規模な国際大会は、様々な仕事に携わる人々の力によって成り立っています。

選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境も、観客が安心して競技を楽しめる環境も、現場で働く一人ひとりの努力があってこそ実現します。大会の成功を語る上で、こうした人々への感謝と敬意を忘れてはなりません。

一方で、華やかなイベントの裏側には、労働組合として考えるべき課題もあります。

大会の準備や運営にともなう長時間労働、休日の確保、熱中症などの健康管理、安全対策、適正な賃金の支払い、委託先や下請け企業で働く人々の労働条件などが挙げられます。大会を成功させるという目標のもとで、「現場の負担が過度に大きくなっていなかったのか？」「担い手の善意や使命感だけに頼ることなく、働く人の権利と生活が守られていたのか？」など、私たちも、こうした視点から大会を振り返ることが必要ではないでしょうか。

もちろん、大会を支えるボランティアの皆さまの活躍も欠かせません。自発的な参加によって人々が交流し、地域への愛着や国際理解を深めることには、大きな意義があります。

だからこそ、ボランティアとして担う活動と、労働者として適正な対価を受け取るべき仕事との関係を明確にし、それぞれの役割や責任にふさわしい環境を整えることが重要です。人々の善意を大切にすることと、働く人の権利を守ることは、決して対立するものではありません。

また、大会が開催地域にもたらす経済効果や雇用の創出にも期待が寄せられます。しかし、その恩恵が一部の企業や業種に留まるのではなく、地域の中小企業やそこで働く人々にもいき渡ることが大切です。

一時的な需要の拡大に終わらせず、安定した雇用、適正な賃金、働きやすい職場環境の整備につなげていかなければなりません。公共性の高い事業においては、価格だけでなく、そこで働く人々の労働条件や安全、仕事の質を重視する考え方が求められます。

これは、私たち連合埼玉にとっても身近な課題です。埼玉県内にも、交通、物流、建設、警備、サービス、宿泊、飲食など、社会を支える多くの職場があります。人手不足が深刻化する中、働く人を単なる労働力として捉えるのではなく、尊重されるべき一人の人間として、その生活と尊厳を守ることが必要です。誰もが安心して働き続けられ、努力が適正に評価される社会をつくることは、スポーツ大会の運営に限らず、私たち労働組合にも共通する使命です。

さらに、アジア各国・地域の選手や関係者が交流する大会は、平和と国際連帯について考える機会でもあります。国籍や文化、言語が異なっても、同じ目標に向かって努力する姿には、互いを認め合うことの大切さが表れています。

労働組合もまた、国境を越えて働く人々の権利を守り、誰もが人間らしく働き、暮らせる社会をめざして連帯を広げてきました。スポーツが示す相互理解と尊重の精神は、私たちの運動にもつうじるものです。

連合埼玉は、すべての働く人が安心して働き、暮らしにゆとりと豊かさを実感できる社会の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

そのためにも、私たちはこれからも「働く人」の視点を大切に、地域に根差した運動を進めていきたいと思います。

2026.10.15

Universal Design UD Font
読みやすいユニバーサルデザイン文字